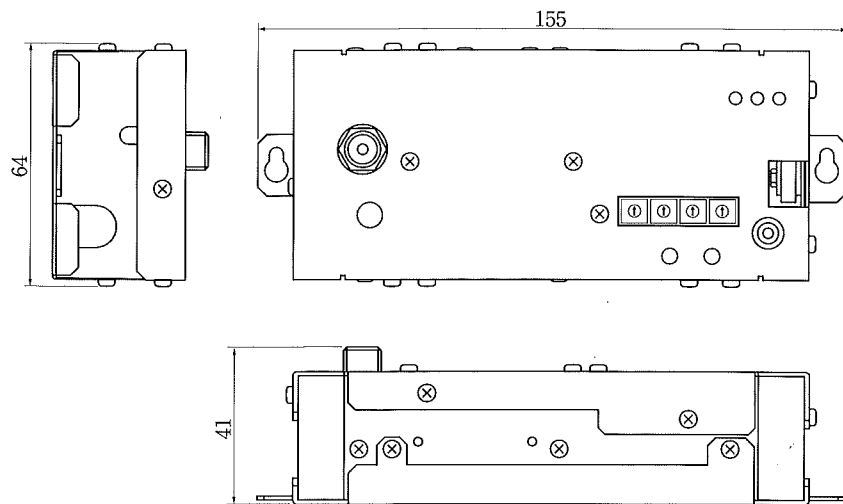


8. 外 観 図



(単位：mm)

ステータスモニタユニット

品番 STK-105

取扱説明書

このたびは、DXアンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品を正しく理解し、ご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読み
ください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

◎安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な 禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容と告げるものです。図の中に具体的 な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が 描かれています。



警告

この内容を見無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また
は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店
もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された品番以外の増幅器で使用しないでください。火災・感電の原因
となります。



- 高所に設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 風の強い日や、雨、雪、雷などの天候の悪い日は、危険ですから設置工事
や点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



6. 使用上の注意

1. ユニットを取り付ける場合、脱落防止のため、増幅器のフタ締付ボルト
は十分に緩めた後（約2回転後）は手で緩めてください。
2. ユニットを取り付けた後、増幅器のフタを閉めるときは、防水パッキン
が曲がっていないことを確かめ、AVRユニットおよびステータスモニ
タユニットのケーブルを挟まないようにフタ締付ボルトで締め付けてく
ださい。また、取り付けや調整の際、雨水や湿気が増幅器内部に入った
ときは、水分をよく拭き取ってからフタをしてください。
※防水パッキンにはシリコングリス等を一切塗布しないでください。
※フタ締付トルクは1200N・cm（約120kgf・cm）で均一に締め付けてくだ
さい。
3. ユニットは必ず指定された品番の増幅器に取り付けてください。
4. アドレス設定スイッチの操作には調整ドライバを使用し、無理な力を加
えないでください。

7. 付 属 品

固定ネジ.....2本
タイラップ.....1本

※ステータスモニタ調整ボリュームは出荷時に調整されていますので、むやみにさわらないでください。誤動作の原因となります。

・上りデータ信号モニタ端子

本ユニットより出力される上りデータ信号を出力します。ユニット出力より20dB低い値でモニタできます。

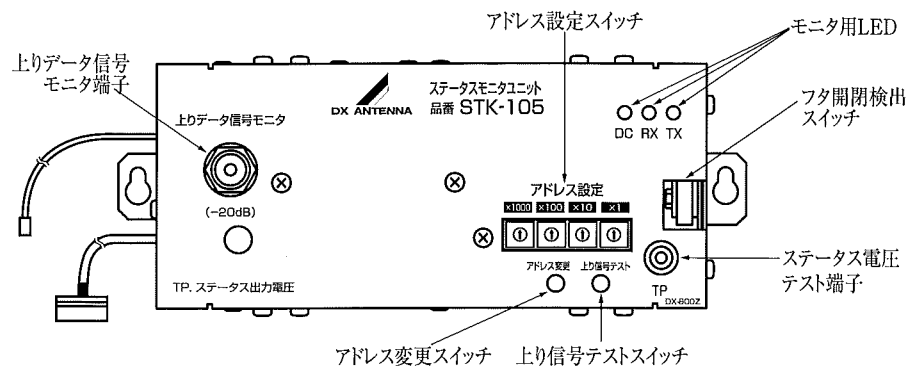
また、上り信号テストスイッチを押すことによって、本ユニットより上りデータ信号を強制的に出力させ、動作を確認することができます。なお、上りデータ信号は上り信号テストスイッチを押している間だけ出力されます。

※上りデータ信号出力レベル 46MHz値 (モニタレベル)

TRA-8151 96dB μ (76dB μ)

※フタ開閉検出スイッチは、ダイカストケースのフタの開閉を検出するスイッチです。

スイッチ部に無理な力を加えないでください。誤動作や故障の原因となります。



- この製品を接続するケーブルには電流が流れることがありますので、ショートしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



- この製品に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。雨天での設置工事や点検・調整でこの製品を設置する増幅器の蓋を開けないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品を設置・点検・調整した後は、正しくこの製品を設置する増幅器の蓋を閉めてください。水が入ったりして、火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水が入った場合は、まずこの製品に供給している電源を切り、水をよく拭き取ってから、電源を供給してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに製品に供給している電源を切り、煙がでなくなるのを確認してCATV施設の管理者もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 取り付けネジやボルトや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



- この製品や部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品にはふれないでください。感電の原因となります。



目 次

1. 機器概要	2
2. 特 長	2
3. 規格とブロックダイアグラム	
(1) 規格	2
(2) ブロックダイアグラム	3
4. 各部の名称	4
5. 操作説明	
(1) 取り付け、取りはずし	5
(2) 調整方法	6～7
6. 使用上の注意	8
7. 付 属 品	8
8. 外 観 図	9

※取りはずしは、取り付けの逆の作業を行なってください。取付時にはネジは、約80N・cmでしっかりと締め付けてください。

(2) 調整方法

調整は、ステータスモニタユニット（STK-105）のスイッチ、下り増幅部（ベース部）ユニットのボリュームを使用して行います。

① アドレスの設定

アドレスの設定は、アドレス設定スイッチ（ロータリースイッチ、4個）で行います。

設定範囲は、1～9999までの任意の番号が設定できます。なお、アドレスを0には設定できません。

アドレス設定スイッチを設定し、ステータス信号コネクタを下り増幅部（ベース部）ユニットに差し込むことで動作を開始します。途中でアドレスを変更するときは、アドレス設定スイッチを変更後、アドレス変更スイッチを押すことで変更したアドレスによる動作を開始します。

② 動作状態の確認

・モニタ用LED

DC……本機に給電している電源装置において、無停電動作（インバータ動作）により、電源波形が矩形波となったときに点灯します。

RX……センター装置より出力される下りステータス信号を受信したとき点灯します。

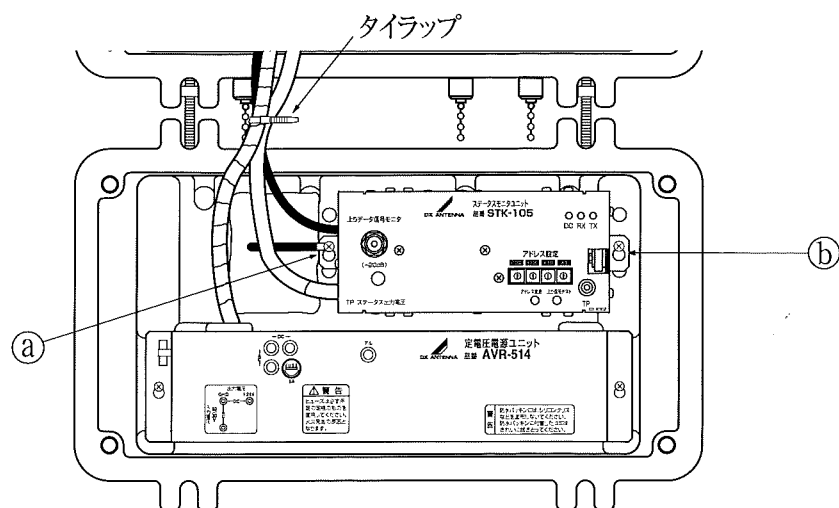
TX……本機よりセンター装置に上りステータス信号を出力するときのみ点灯します。

・ステータス電圧テスト端子

下り信号のパイロット信号レベルの変換電圧が測定できます。**標準出力時にDC3.0Vが出力されます。**下り増幅部（ベース部）ユニットのステータス出力電圧設定ボリュームで調整します。

5. 操作説明

(1) 取り付け、取りはずし



本ユニットの取り付けは、①のシリカゲル止め金具固定ネジ（1本）を取りはずし、②に本ユニット付属の固定ネジ1本を仮止めし、図のように本ユニットを装着します。残った付属の固定ネジ1本にシリカゲル止め金具を通し、本ユニットと共に①に固定し、固定ネジを締め付けてください。

取り付け後、ステータス信号コネクタ、ステータス RF コネクタを下り増幅部（ベース部）ユニットに差し込み、図のようにタイラップでケーブルを固定してください。

1. 機器概要

この製品は、HFC-CATV システムの伝送ラインで使用される増幅器の運用状態を監視および制御することが可能なステータスモニタユニットです。

2. 特 長

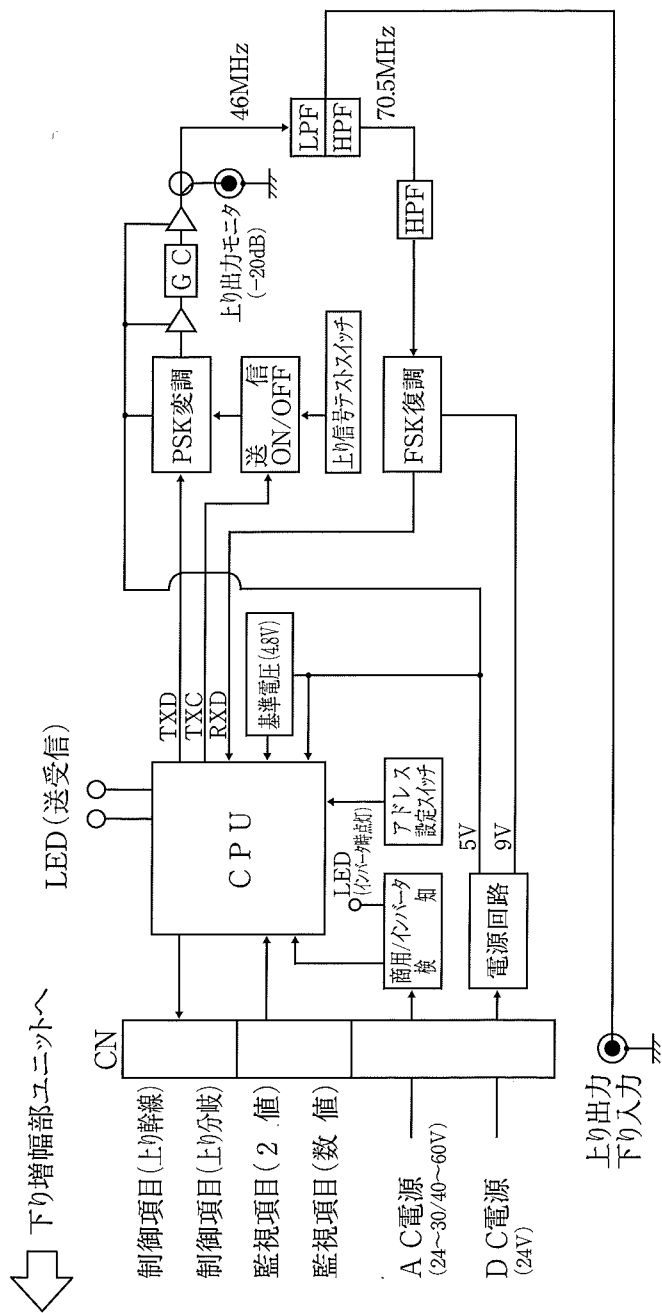
- ・ 770MHz帯双方向CATVシステムに対応しています。
- ・ 日本CATV技術協会規格の標準仕様にも対応しています。
- ・ 上り幹線増幅部や上り分岐増幅部の制御（通過および阻止）が可能です。

3. 規格とブロックダイアグラム

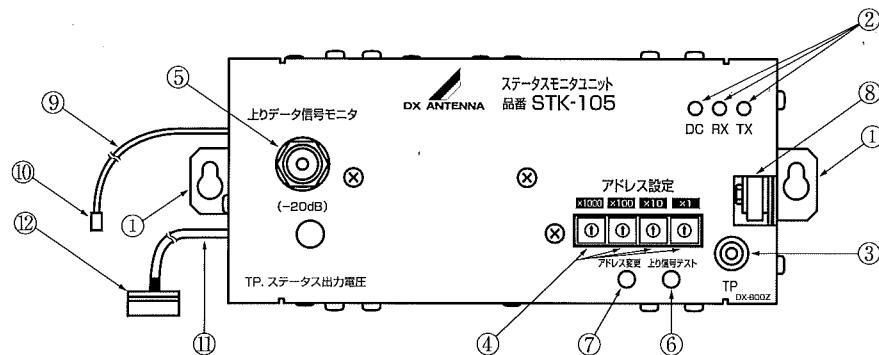
(1) 規格

項 目	規 格
受 信 周 波 数 (MHz)	70.5
適正入力レベル範囲 (dBμ)	40～90
送 信 周 波 数 (MHz)	46.0
出力レベル範囲 (dBμ)	88～108
変 調 方 式	PSK
デ ー タ 転 送 速 度 (bps)	9600
回 線 制 御 方 式	ポーリング／セレクトイング
設 定 可 能 ア ド レ ス	1～9999 (0は不可)
消 費 電 流 (mA)	約150 (受信時)
電 源 電 圧 (V)	DC24
外 形 寸 法 (mm)	155(H)×60(W)×34(D)
質 量 (Kg)	0.42

(2) ブロックダイヤグラム



4. 各部の名称



- | | |
|------------------|--------------|
| ①ユニット固定部 (2か所) | ⑦アドレス変更スイッチ |
| ②モニタ用LED (3個) | ⑧フタ開閉検出スイッチ |
| ③ステータス電圧テスト端子 | ⑨ステータスRFケーブル |
| ④アドレス設定スイッチ (4個) | ⑩ステータスRFコネクタ |
| ⑤上りデータ信号モニタ端子 | ⑪ステータス信号ケーブル |
| ⑥上り信号テストスイッチ | ⑫ステータス信号コネクタ |